



2013年10月10日

お客様向け資料

BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

ブラジルの政策金利の引き上げについて

ブラジル中央銀行は、現地 2013 年 10 月 8 日および 9 日に COPOM（定例金融政策委員会）を開催し、Selic（政策金利）を 9.0%から 9.5%に引き上げることを決定しました。今年に入り 5 回目の利上げとなり、これまでと同様にインフレ抑制を目指す政策金利の調整プロセスの一環との背景から引き上げられました。

9 月上旬に公開された前回（8 月 28 日）COPOM の議事録では、現在の利上げのペースは適切であるが、通貨レアル安が短期的にインフレを押し上げ、物価上昇率が 2015 年前半も目標を上回るとの見通しが示されていました。そのことから、今回の COPOM において政策金利は 0.5%引き上げられるであろうとの見方が市場を占めていました。今回、委員会メンバーの全会一致で決定され、市場予想とも一致する結果であったとの報道がされております。よって、今回の政策金利の引き上げは、市場ではほぼ織り込み済みであり、金融市場への影響は限定的と見込まれます。同日発表された 9 月ブラジルの IPCA（消費者物価指数）は、前年同月比+5.86%と 7 月の同+6.27%や 8 月の同+6.09%から低下しており、3 カ月連続で中銀の物価目標（年 2.5%~6.5%）の上限を下回っています。それを踏まえ市場では、次回 11 月の COPOM で 0.25%の利上げを実施したところで、政策金利の据え置きに転じるとの見方が優勢となっております。

今回の利上げ決定の発表はブラジル債券・株式市場の引け後に行われております。また、10 日早朝の東京時間の為替市場は比較的落ち着いた推移となっております。

<ブラジル政策金利と実質金利の推移>
(2003 年 2 月 1 日~2013 年 10 月 9 日)



2013年10月9日
9.0%→9.5%へ
0.5%の引き上げ

*政策金利：Selicを使用。
*実質金利：名目金利とインフレ率
を使用し算出
(データ出所：ブラジル中央銀行)

本資料は、BNP パリバアセットマネジメント ブラジルが作成した資料をもとに、BNP パリバインベストメント・パートナーズ株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解等を提供することを目的として、上記の時点で作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。